

「COVID-19の流行禍における看護に対する思いを語る会」 コンテンツ配信に関するアンケート結果

宮崎県立看護大学看護学研究会は、看護学の発展と会員相互の学術的研鑽を図ることを目的とし、開学10周年を記念し設立されました。毎年学術集会を開催し、会員の研鑽を深めてきているところです。令和2年度の学術集会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、1年延期せざるを得ず、理事会として何か取り組めないか模索して参りました。その結果、一堂に会することはできなくてもwebを活用して看護について語り合えないかと考え、「COVID-19の流行禍における看護に対する思いを語る会」のコンテンツ配信を企画いたしました。

COVID-19の流行禍における思いを語ってくださった皆様



薄井 坦子 先生



助産師
松田 ゆかりさん



看護師
井好 昭博さん



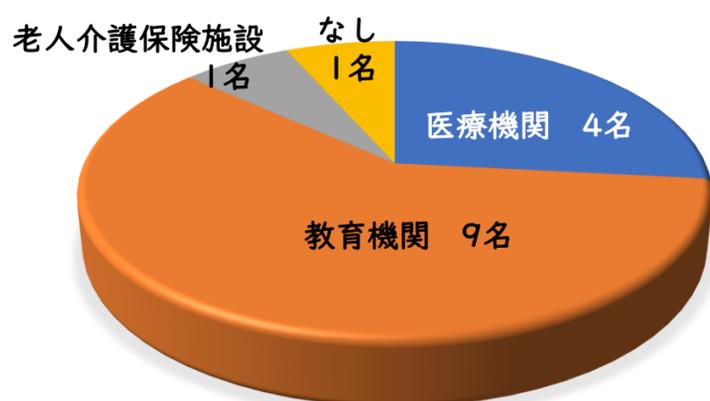
保健師
清 弥佳さん

令和3年3月1日～4月30日まで配信しておりました動画につきましては、多くの会員の皆様にご視聴いただきました。また、アンケートへもご協力をいただき、ありがとうございました。お寄せいただいたご意見、ご感想につきましては、今後の活動に反映させていきたいと思っております。結果の詳細につきましては、次頁をご覧ください。

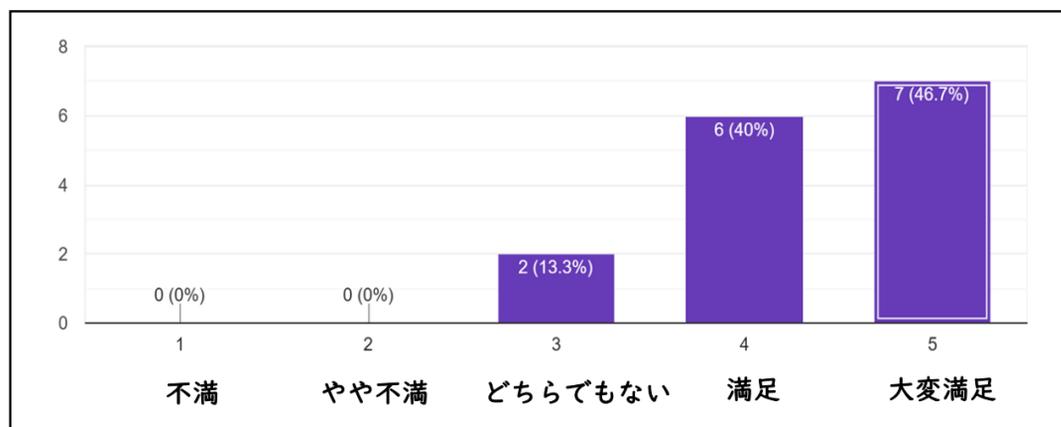


「COVID-19の流行禍における看護に対する思いを語る会」 コンテンツ配信に関するアンケート結果

● 現在の所属について



● 今回の取組みの満足度について



(N=15)

● 今回の取組みに対するご意見、ご感想

- ・ 学術集会となると休みの希望を出したり、勤務の調整をしたりと気軽に参加することが中々出来なかったのですが、webセミナーだと見たい時に見れるのでとても良かったです。webを有効活用するのも遠方にいる身としてはとてもありがたいと思いました。
- ・ このような企画を検討していただき、心より感謝致します。COVID-19の状況において、newnormalな生活と言われる中、免疫を上げる生活も同時に必要！と思い、vitaminC、質のよいタンパク質をとり、睡眠をとることを学生に伝え、自分自身でも実践してきました。薄井先生の言葉で、これでよかったんだ！と思うことができました。（ただ、運動や活動が減少しておりコロナ太りとなりましたので、運動習慣をプラスする機会とさせていただくことを決意しました。）
- ・ 動画配信、有り難く視聴させていただきました。薄井先生をはじめコロナ禍の第一線で活躍されている方々のお声は、とても心に響きました。会員のみなさんで、実際に心置きなく語り合える日が一日でも早く訪れることを願わずにはられません。
- ・ 薄井先生の貴重なお話を聞くことができたことが良かったです。お元気そうでしたし、しっかり予防をなされているんだなと思いました。予防をしていれば恐れ戦く必要はないですね。
- ・ 薄井先生のお姿を見ただけで満足です。
- ・ 薄井先生の、地球上の生き物はすべて免疫力を持っているんだから、という言葉に、改めて持てる力を信じていいんだと思い、励みになりました。それに続く、松田さんの褥婦さんの事例提供は流れがあってわかりやすかったです。
- ・ 多くの学会が中止や延期になる中、現場の現状を聞かせていただき、ありがとうございます。今年度ほど、ナイチンゲールの「生命の法則」「健康の法則」を実感できたことはありませんでした。それを実践している一人ひとりの取り組みに勇気をもらいました。自分自身の実践へのエネルギーにして、一人でも多くの人々に生きる知恵のヒントを伝えていきたいと思えます。
- ・ 3月の感染の状況は少し減った中での視聴でしたが、現場で働いている方々のご苦労が伝わり、本当に疲弊されないようにと願いました。また自分や周りのものが感染者とならないような生活を心がけ現場に負担をかけないようにと再認識しました。だからと言って追い詰めないよう、メンタルヘルスに心がけようと思いました。臨床で活動している方々の声を聴くことは、今起きていることを考えるととても良い機会と思いました。
- ・ 生の声を聴かせていただき大変さが伝わってきました。薄井先生のお話で改めて、もてる力を生かすことが大事だと確認できました。
- ・ 現場の声が聞けたのは貴重だと思います。そんな中でもどう捉え、どう看護していくのか？私たちもこれまでの固定観念ではなく、流動的に変異していく必要があると思います。その変異も共有していきたいです。参考にさせていただきたいです。
- ・ とても素敵な取り組みで様々な方々からの熱いメッセージが心に響きました。ありがとうございます。
- ・ 現場の思いが伝わってました。ありがとうございます。

● 今後取り上げてほしい企画やテーマなど

- ・ COVID-19の状況において、これまで行えていた看護が行えない、また、高齢者看護においてはこれまで触れる看護を大切にしてきたが触れることが極端に減ってしまったことに、臨床現場のナースは無力感を感じ落ち込みがちになっています。今一度、“看護とは何か”を語り合える機会をZoomによるオンライン研修会を企画していただければととてもうれしく思います。
- ・ 私が感じるのですが、医療現場では、新型コロナ対策はもちろん、看護の業務を可視化するための看護必要度の作業をしたり、看護師の特定行為研修や認定専門看護師を募集して専門コース看護分野を深めたり、自宅ではe-Learning視聴したり等、縦割りの知識を深めることが多く、患者さん個人を見つめる機会が少なくなった気がします。だからこそ、ここに来れば、初心にかえって患者さんの持てる力に気づかされ、次の日から現場に活かさせている、そんな場であつたらいいと思います。
- ・ 看護および看護教育の実践現場から、人々の「もてる力」を紹介する。